



高橋 慎司 議員(無ク)

区民との協働について

①行政への参加や協力が、協働という用語によって義務化されているのでは、などの指摘が一部にある。区が考

いくことで、市民参加は、住民が行政のプロセスに参加することである。②あくまで基本構想の実現でありその方法の一つだ。③行財政改革の1つという側面もある。行政

品川区の障害児・障害者福祉について

①厚生労働省の検討会が障害児支援を児童福祉法の基づくものに見直すべきとの報告書案をまとめたが、取り組み

教育について

①校区外部評価委員会の評価項目等は。②国や都の学力調査の結果について区としての分析等は。

民有地の跡地利用について

①日本たばこの西品川社宅跡地について、積極的に買取を検討しては。

防犯・防災対策について

①昨今、私たちの身近なところでも新しい手口の巧妙な詐欺による被害が急増している。新しい手口の振り込め詐欺の被害防止対策や取り組み

地域振興について

①区の特性を生かした中小企業の振興について⑦区の置かれた、住工一体型などの利点をどのように生かしていく



本間 隆 議員(民主)

情操教育について

①2008年ノーベル賞を受賞したボストン大学名誉教授が研究をされた「オワンクラゲ」を、しながわ水族館で展示し発光クラゲの魅力を実際に子どもたちに見せてあげてほしい、との意見に考えは

議員研修会を開催しました

品川区議会では、議会の調査・研究活動の充実を図るため、有識者を招き、議員研修会を実施しています。

第10回目となる今回は、平成20年12月12日午後1時から、品川区総合庁舎議会棟で開催しました。



藤田 庄氏

講師として、藤田 庄氏(独立行政法人 国立環境研究所 環境技術評価システム研究室長、東洋大学工学部教授・地域産業共生研究センター長)をお招きし、「低炭素都市の形成にむけた自治体政策のあり方」と題して、講演をしていただきました。

当日は、区議会議員と、区長、副区長や教育長などの幹部職員合計82名が受講し、熱心に耳を傾けました。

また、講演終了後には、4名の受講者から質問が出され、活発な質疑が行われました。

国際交流のあり方について

①区では現在、アメリカのポートランド市、スイスのジュネーブ市、ニュージーランドのオークランド市と姉妹都市あるいは友好都市提携を結び、国際交流を続けている。

区民生活事業部長 ①⑦中小企業の集積を生かした企業間交流を活発化し、相互の連携を図り受発注の拡大につなげる。①区内に産業技術高等専門学校と産業技術大学院大学が立地していることから人材育成等において産学連携を図る。②産業施設への転用は困難だと考えるが、大崎駅周辺地域で新たなものづくり産業支援施設の設置を検討している。